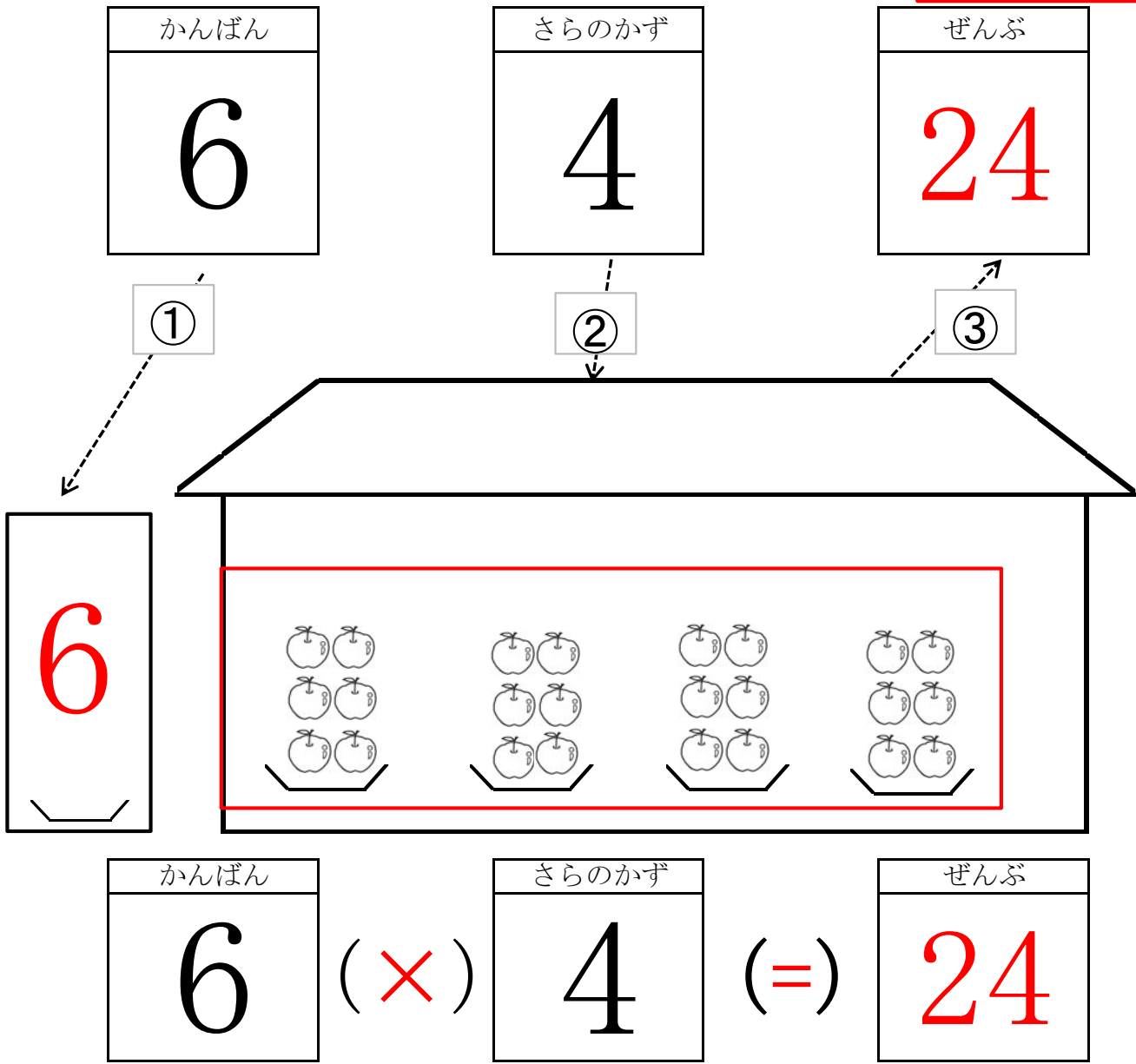


りんごのおなじやさんがあります。
 かんばんと さらのかずが、わかっています。
 れんごは、ぜんぶで なんこ あるでしょう。

(1)かけざんの意味
 ③ 数式
 資料7~8 1時間



本時の目標
 ・かけざんの数式の表わし方を理解させる。

1. 課題 資料7の通り

2. 各自考える。
 予想される子どもの考えについては、資料5を参照されたい。

前時までに既に学習済みの課題である。従って、いきなり「ぜんぶ」を求める子もいるかもしれない。(かけざんの意味がよくわかっている子と考えられる)
 しかし、机間巡視の際、「かんばん」の数字と皿の数だけは記入させるようにしたい。看板(1あたり量)と皿の数(いくつ分)を頭の中に焼き付けるためである。

3. 発表する

資料5の考察で、述べたとおり、2年生には様々な発達段階の子がいる。様々な「ぜんぶ」の求め方を1つひとつ丁寧に発表させたい。

4. まとめ

「かけざんは、看板と皿の数を使って、ぜんぶを求めます。」

かけざんのしき
 (かんばん) × (さらのかず) = (ぜんぶ)

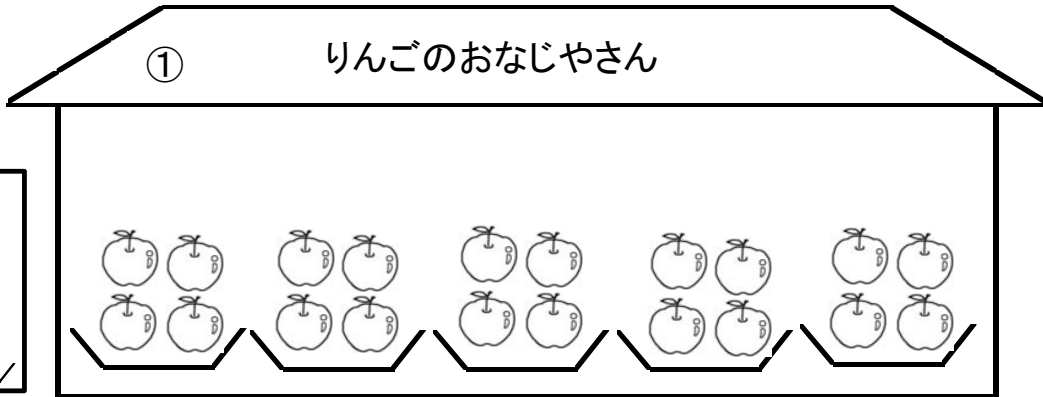
教室に掲示しておきたい。

おなじやさんが あります。
 しなものは ぜんぶで いくつ あるでしょう。
 しきを 書いて 答えを もとめましょう。

資料7の練習問題

家庭学習用として作成した。

4

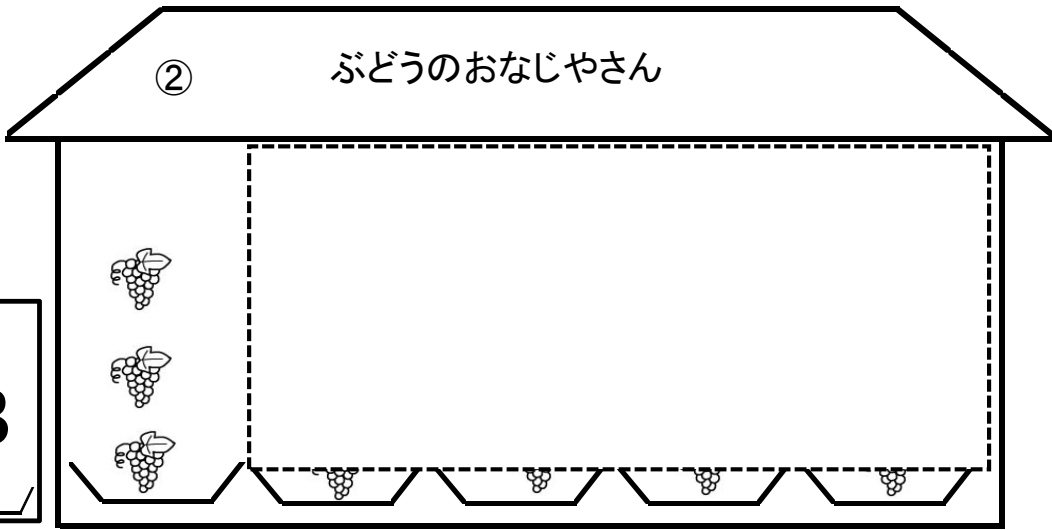


<しき>

かんばん さらの数 ぜんぶ
 () × () = ()

答え _____

3

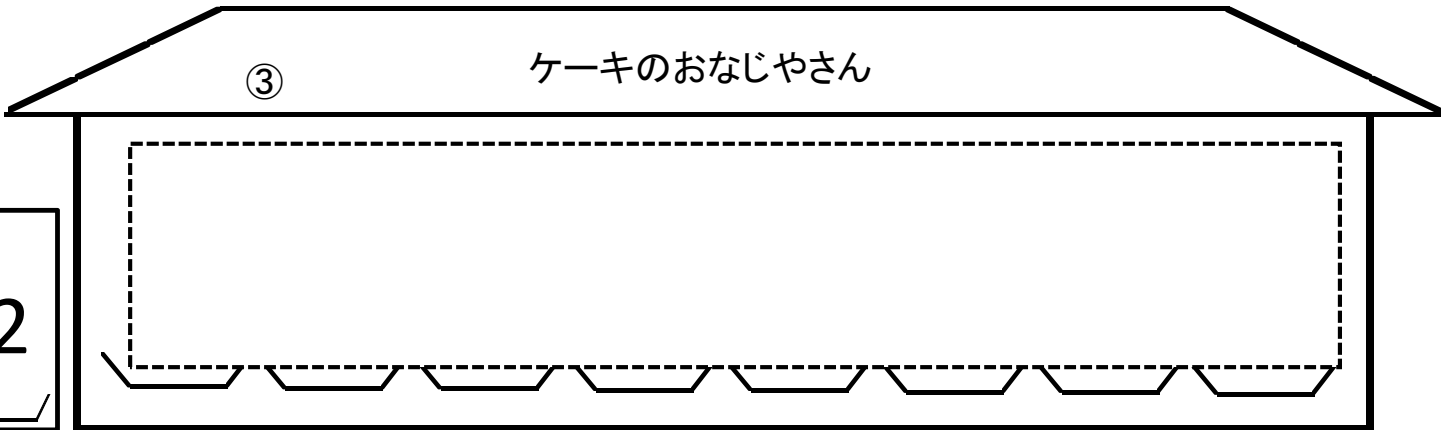


<しき>

かんばん さらの数 ぜんぶ
 () × () = ()

答え _____

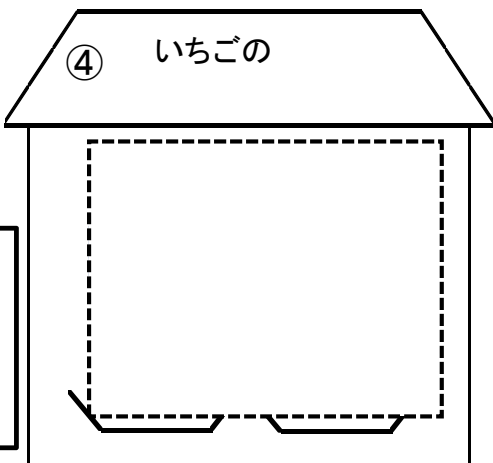
2



<しき>

かんばん さらの数 ぜんぶ
 () × () = ()

7



<しき>

かんばん さらの数 ぜんぶ
 () × () = ()

答え _____

答え _____